

2009年度 聖路加看護学会 理事会報告

顔合わせ会

- 日 時：平成20年10月23日〔木〕18：00～19：00
- 場 所：聖路加看護大学2号館4階ミーティングルーム
- 出席者：理事4名、前期理事1名

<報告事項>

1. 山田雅子新理事長より挨拶がなされた。
2. 新理事長より委嘱状の交付および新理事の挨拶がなされた。
3. 理事長より、2005年をピークに会員数の伸び悩みがあることの説明がなされた。前期理事より、会員数の伸び悩みについては、2006年度以降から、会費未納者の自動退会を行っていることも原因の一つであるとの説明がなされた。また、本学術大会の参加者は、非会員よりも会員のほうが多い傾向にあるが、他学会は、非会員のほうが多い場合もある、臨床家が多く参加する学会は、非学会員が多くなるとの意見が出された。また第1～9回までの参加者数を表に追加すること、ならびに学術交流集会の参加者数も調べ、検討の一資料にしていくことで合意がなされた。

<検討事項>

1. 本年度事業計画について以下の説明がなされた。
 - ・将来構想委員会については、今期は委員会活動を行わず、学術交流委員会にて学会活動に反映させるための策を検討してもらうことで合意がなされた。また来年以降、新たな委員会発足の可能性もあるとの意見が出された。
 - ・学術交流集会については、学術大会終了後に開催するのではなく、学術大会のプログラムに組み込む案も出された。今後、第14回学術大会長と連携を取り、内容を吟味していくこととなった。
 - ・将来構想委員会で検討し続けてきた本学会名（聖路加看護学会）については、本学会が実践家の育成と研鑽の場であったこと、今後もそれは特徴の一つであるにとらえたいことから、「日本看護実践科学学会」という名称案が出された。学会名変更の有無についても、今後、理事会で検討していくことで同意がなされた。
 - ・大久保暢子前指名理事より、将来構想委員会の活動費は、庶務費の中に組み込まれ、独立した委員会の活動費にはしていないこと、予備費は、学会誌編集作業もしくは新委員会の活動費にも使用できる旨の説明がなされた。
2. 各委員会組織と担当者について提案が出され、各委員会の委員長が決定した。また看護系学会協議会担当者も必要との意見が出され、山田理事長および森明子理事を担当者としてはどうかとの案が出された。
3. 日本学術会議の「医のイノベーション」会議と連動して、南裕子氏のリーダーシップのもと、看護分科会、看護系学会協議会役員会を中心に看護裁量権の拡大に関する緊急会議が発足したことが説明された。本学会は、看護に必要な裁量権を具体的にあげていくために、代表として及川郁子前期理事が参加することで同意された。
4. 本顔合わせ会議は、理事の欠席者が多かったことから、第1回理事会の日時を調整し、監事、指名理事、第13回学術大会長、第14回学術大会長も参加することで同意がなされた。

第1回

- 日 時：平成20年11月27日〔木〕18：45～20：50
- 場 所：聖路加看護大学2号館4階ミーティングルーム
- 出席者：理事7名、監事1名、第14回学術大会長

<審議事項>

1. 新理事長就任の挨拶がなされた。
2. 2008年度総会、および2009年度新理事顔合わせ会議事録は承認された。
3. 庶務担当の森明子、佐居由美2名の指名理事の承認がなされた。
各種推薦業務については、理事会に諮らずに、理事長と庶務にて対応することが確認された。
4. 総会にて議決された2009年度事業計画の確認がされた。
5. 理事会スケジュールの承認がなされ、開催時間は、18：00～20：00となった。
6. 日本看護系学会協議会役員候補者推薦について、山田理事、森理事の2名が候補として推薦され、両者にて協議のうえ決定することとなった。
7. 新入会員の承認：5名の入会が承認された。
8. 会員数の動向について、会員数増加のための活動を行うことが確認された（目標会員数600名）。引退後の会員の継続入会推進のため、名誉会員制度について検討することとなった。
9. 学術大会参加者数、学術交流委員会参加者数について、山田理事長により資料の説明がなされた。
10. 「高齢者ヘルス&ケア名鑑 団体・研究所・学会・研究会リストブック」掲載について、掲載料金無料のため、掲載依頼を受諾することとなった。
11. 国立情報学研究所のサービス (<http://ci.nii.ac.jp/>) の利用について、「学会の負担金なく、学会誌掲載論文の全文公開が可能。過去に遡って、PDFにて公開でき、公開内容を学会が指定できる。学会としては、学会誌を郵送するのみ」との意見があげられた。論文公開について、引き続き検討することとなった。

<報告事項>

1. 第13回学術大会終了報告がなされた。79,430円の繰越金があり、次回大会に寄付されることとなった。
2. 第14回学術大会進捗の説明がなされ、意見交換がなされた。次回学術大会は、まとまって新しい知見を開ける機会の提供の場とし、新しい構成（レビュー・レクチャー）とした。各レクチャーは、50分レクチャー・10分質疑応答のスタイルとする。山田理事長より、会員数・学術大会参加者数の増加を目指すため、聖路加看護大学で開催している認定看護師コース受講者の参加を促すプログラムとしたいとの発言があった。
3. 学会誌編集委員会より、委員会メンバー9名が報告された。また、引き継ぎが終了し、第1回委員会を1月に行う予定であり、次号は、1月末発行を目指す旨が報告された。
4. ニュースレター委員会より、引き継ぎ予定であるとの報告があった。ニュースレター委員会には、広報の機能を担う委員会であることが確認され、ホームページ管理をニュースレター委員会が行うことで同意がなされた。今後、ホームページ掲載依頼は、高木廣文理事宛に行うこととなった。
5. 学術交流委員会より、将来構想委員会からの提案を受けた事業の展開が期待されるが、今年度の事業は総会にて承認済みのため、今年度は大枠を変更せずに、内容の充実を図りたい旨が報告された。
6. 庶務より、2名の指名理事が担当する旨が報告された。
7. 会計より、今後の会計処理について、各委員会で口座を作成し、会計担当者が予算執行を行う提案があり、同意さ

れた。

8. 看護系学会等社会保険連合より、特に専門分野を定めていない本学会が、同連合に加入していることの意義の有無(年会費7万円)について、発言があった。

第2回(書面)

●日 時：平成20年12月3日〔火〕付

●回答者：理事7名、監事1名

<審議事項>

1. 「診療行為に関連した死亡調査分析モデル事業」への協力の諾否について、協力することが可決された。
2. その対応については、依頼ごとに担当者を推薦することが可決された。

第3回

●日 時：平成21年1月9日〔金〕18：05～20：00

●場 所：聖路加看護大学2号館5階ミーティングルーム

●出席者：理事7名、監事1名

<審議事項>

1. 2009年度聖路加看護学会第1回理事会議事録は承認された。
2. 会員数確保のため名誉会員制度の創設について検討され、反対意見なく、名誉会員制度を設けることで同意された。詳細は、今後の理事会で引き続き検討することとなった。
3. 会員より休会希望の申し出があったため、「休会」「再入会」制度について他学会の現状を調査した旨、佐居理事より報告があった。休会の理由は、子育てであり、数年後に復会を予定しているが、再入会時の学会員による推薦を得るのが難しいとのことであったので、庶務担当理事(佐居)が対応することで同意された。
4. 今期の「入会のしおり」について、山田理事長より、主な変更点(理事長写真の削除、本学会の趣旨の文章の変更、全学術大会テーマの削除)の説明がなされた。
5. 前期の将来構想委員会の答申(「名称変更の検討は引き続き行う」)を受け、学会の名称の変更については、毎回、理事会の議題とし、引き続き検討することとなった。理事会での意見がまとまれば、学会員にアンケートを行うこととなった。
6. 会費滞納期間について、現行では3年間の会費滞納により会員資格を喪失するが、滞納期間も学会誌、ニュースレターが送付されている。討議の結果、今年度より、今年度までの年会費が6月30日の時点で未納であれば、学会誌第2号(7月発行)は発送せず、その後、今年度までの年会費の納入が確認できたところで、未送の学会誌を発送することとなった。次号のニュースレターにて、会員に「会計からのお知らせ」として告知を行うことで同意された。
7. 「診療行為に関連した死亡調査分析モデル事業」への協力について、太田喜久子理事(日本看護系学会協議会理事長)より、説明がなされ、会員から候補者を選出し、3月の理事会で検討することで同意された。

<報告事項>

1. 第14回学術大会について、参加費、当日スケジュール案、現在進行中の事柄と今後の予定の報告がなされた。
2. 学会誌編集委員会より、委員会のメンバー構成、次号の学会誌発行時期(2月上旬以降予定)、1月に編集委員会を開催する旨が報告された。
3. ニュースレター委員会より、口座の開設、委員会のメンバー構成、近日中に委員会開催予定であることが報告された。
4. 学術交流委員会より、委員を選考中であること、次回3月の理事会にて、学術交流委員会の開催時期を報告予定で

あること、現時点では学術大会と異なる日に実施する可能性が高いことが報告された。

5. 庶務より、学会員数、第2回書面理事会の結果、日本看護系学会協議会役員候補者として山田理事長を推薦したこと、「高齢者ヘルス&ケア名鑑 団体・研究所・学会・研究会リストブック」掲載受託について報告がなされた。また、第1回理事会の資料修正の報告がなされた。
6. 会計より、次回の理事会にて、今年度の会員の会費納入率報告がされることとなった。
7. 看護系学会等社会保険連合より、特に報告事項はない旨、報告された。

第4回

●日 時：平成21年3月27日〔金〕18：15～19：45

●場 所：聖路加看護大学2号館4階ミーティングルーム

●出席者：理事5名、監事2名

<審議事項>

1. 2009年度第3回理事会議事録は、名誉会員制度について一部修正され、承認された。
2. 新入会員の承認：4名の入会が承認された。
3. 名誉会員制度について、会則のたたき案が示された。内規も定める必要があり、次回、案を再度図ることとなった。会費納入の免除については、あまり免除者を増やすと学会の収入に影響してしまうのではないかと意見が出され、役職を務めた者のみ免除することとなった。
4. ニュースレターの発行について、協議することは特にないとのことであった。

<報告事項>

1. 第14回学術大会より、理事会での検討希望のあった、講演集への広告掲載について協議した結果、あまり多くしすぎないこと、学術的な趣意に沿わず好ましくない企業は避けるということを認める意見で一致した。また、広告掲載料の詳細についてさらに検討し、依頼交渉に臨むべきとの意見が出された。
2. 学会誌編集委員会より、出版社からの転載許諾等を行う際に使用する目的で編集委員会委員長印を作成したいという報告に対し、この内容は理事長責任で行うべきことであり、理事長印が用いられるべきとの確認がなされた。
3. ニュースレター委員会よりニュースレター25号が3月末に発送予定であること、内容は昨年の学術大会などが中心であることが報告された。
4. 学術交流委員会より、委員会構成メンバーが報告された。開催日について、学術集会とは異なる日に行う予定であること、また開催曜日や時間帯、内容についても検討中であると報告された。
5. 庶務より、学会員数、入会のしおりの配布、学会ホームページの更新について、診療行為に関連した死亡調査分析モデル事業看護系調査委員候補者リスト作成と日本看護系学会協議会への回答提出がなされたと報告された。
6. 会計より、学会費納入を6月30日までに行っていない会員には学会誌を送付しないこと(第3回理事会の決定)についての告知をニュースレターに掲載したと報告された。本学会には自動退会制度はないので、滞納していることを伝えるようにする必要があり、今回決めた措置と同時に、各会員に納入状況を知らせるようにしたいとの意向が説明された。また、3月24日現在の会費納入率57.4%(278名)、3年以上の会費滞納者は25名ほどいる、一方、何度も振り込み、2011年度分まで払い込んでいる会員もあり、振替用紙に印字する内容を検討する予定であると報告された。
7. 看護系学会等社会保険連合より、診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会のワーキンググループとして以下の4グループに別れ、吟味することになったと

報告された。

- ・地域連携に関する要望
- ・7対1入院基本料に関する要望
- ・専門性の高い看護に対する評価
- ・看護師外来に対する加算の新設・医療スタッフの充実化

第5回

- 日 時：平成21年6月19日〔金〕18：15～19：45
- 場 所：聖路加看護大学2号館5階ミーティングルーム
- 出席者：理事6名、監事2名、第14回学術大会長

<審議事項>

1. 2009年度第4回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：17名の入会が承認された。
3. 名誉会員制度について、「名誉会員会則（案）」および「申し合わせ事項（案）」が提示され、検討の結果、一部修正、削除の後、承認された。名誉会員推薦候補者の推薦については、総会で名誉会員の規程の承認を得た後、来年度の検討事項とすることで同意された。
4. 総会に太田理事（学会誌編集担当）が出席できないため、井部俊子理事が代行で報告することとなった。

<報告事項>

1. 第14回学術大会より、以下のような事柄が報告された。
 - ・講演集の広告掲載は6社となる予定であり、出版社が中心であるとのこと。
 - ・当日の展示は5社を予定していること。
 - ・示説演題は、申し込み期間を延長した結果、27題の申し込みがあったこと。
 - ・フォーラムの持ち方はラウンドテーブル形式で行う予定であること。
 - ・実行委員は新入職員である教員5名に依頼したこと。
2. 学会誌編集委員会より、第13巻、第14巻の投稿状況について報告がなされた。投稿規程の「原稿種別」の変更、および「論文枚数」の変更についての報告と、投稿者自らが論文をチェックして提出できるよう、「投稿論文チェックリスト（案）」が提示された。これに対し、「投稿規程の変更」については特に規定がないことが確認され、今後編集委員会での議を経て理事会で承認し、総会で報告することとなった。

また、編集業務について、現在、委員の編集にかかる負担が大きいこと、編集作業と印刷作業の業者が異なるために効率がよくないこと、編集者の質と費用の問題などが説明され、業者委託について提案がなされた。これに対し、ミスが多く高価では困るので、注意深く合い見積りを取り、よく検討して進めてほしいとの意見が出された。委員会で再度検討し、より詳細な会計資料を準備して2010年度に向けて準備することで同意がなされた。

3. ニュースレター委員会より、次号は大会特集号となると報告された。
4. 学術交流委員会より、例年のように学会とは別企画開催となること、6月25日に今年度の企画について話し合いを予定している旨が報告された。
5. 庶務より、会員数、委員への委嘱状発行、研究の現場において研究を進めるうえで支障になっている事項についての回答依頼があり、日本学術会議へ回答したこと、文部科学省研究振興局より、若手科学者受賞候補者の推薦依頼があったが推薦者がなかったため、「なし」と報告した旨、報告がなされた。
6. 会計より3年間滞納者28名のリスト、およびこれらの会員に対し督促状を出し、継続意思があるかどうかを確認する旨が報告された。

また、債権者登録させてほしいという問い合わせの回答について、図書館予算で図書購読費としての処理を提案し

てはどうかと意見が出された。

第6回（書面）

- 日 時：平成21年8月26日〔水〕付
- 回答者：理事8名、監事2名

<審議事項>

1. 議題：学術交流委員会の来年度の企画は承認された。

第7回

- 日 時：平成21年9月18日〔金〕18:05～21:22
- 場 所：聖路加看護大学2号館3階交流ラウンジ
- 出席者：理事5名、監事2名

<審議事項>

1. 2009年度第5回理事会議事録は一部修正され承認された。
2. 退会者の承認：退会者19名、自動退会者17名の退会が承認された。
3. 学会誌投稿規程の改定について、以下の議論があった。
 - ・6. d)「報告」の定義が、“論理的に述べられている”ではなく、“系統的に述べられている”が適切ではないかとの意見が出され、協議の結果、そのように修正することになった。
 - ・3.“第3者”→“依頼された査読者”とすることになった。
4. 2009年度予算執行および2010年度予算案について報告され、討議の結果、以下のことが決定した。
 - ・繰越金：20周年事業などの周年事業費とし、特別会計に移動する。
 - ・支出超過予算につき、収入額にあった支出額にて予算案を修正する。
 - ・会計監事の指導により、当該年度の小計を表記する。
5. 2010年度事業計画案について報告され、討議の結果、15周年事業（看護実践科学助成基金の創設）、学会組織強化の検討、名誉会員制度の創設が追加された。
 - ・看護実践科学助成基金の創設について：看護実践科学研究助成基金創設を15周年事業とする。予算は、用途限定の特別会計として計上する。2010年度予算は100万円とし、2011年度以降の予算額は年度の繰越金状況に応じて理事会にて決定する。

本事業は、学術交流委員会の事業とし、2010年度に、規程の検討・応募・助成を行う。

- ・学会組織強化の検討について：昨年度の将来構想委員会の答申を受け、来年度の事業として学会組織強化のための検討を理事会にて行う。
6. 総会の進行について説明され、2009年度会計および監査報告と承認は、菊地登喜子監事によってなされることが確認された。
 7. 第16回学術大会長に田代順子氏の推薦が提案され、承認された。

<報告事項>

1. 学会誌編集委員会より総会資料に基づき報告があり、一部修正後、総会資料とすることとなった。
2. ニュースレター委員会より総会資料に基づき報告があった。第24号発行についての報告がないため、ニュースレター委員会に確認することとなった。
3. 学術交流委員会より総会資料に基づき報告があり、内容の一部修正後、総会資料とすることとなった。また、平成21年度事業については、「平成20年9月27日に実施した交流会は、予算上は平成21年度事業となる」ことの確認がされた。
4. 看護系学会等社会保険連合より総会資料に基づき報告があった。委員会活動ではないため、次年度より庶務担当事業として位置づけることとなった。
5. 庶務より総会資料に基づき説明がされ、一部修正のうえ

総会資料とすることとなった。

6. 第14回学術大会より資料に基づき報告がされた。

第8回

●日 時：2009年9月25日〔金〕16:50～17:40

●場 所：聖路加看護大学本館5階505・506共同研究室

●出席者：理事7名、監事2名

＜審議事項＞

1. 会計より2009年度決算案について報告がなされ、備考欄の語句の修正を行い、承認された。
2. 会計より2010年度予算案について、学会誌編集委員会の編集業者の変更に伴う増額、看護実践科学研究助成基金が新たに設けられたこと、会計事務のための人件費増額があることが報告され、語句の修正を行い、承認された。
3. 理事長より総会の進行内容が説明され、確認がなされ、会則改正案については議事項目として上位にあげることが承認された。
4. その他、学会誌投稿規程の改定内容につき、再度審議し、

改定内容が確認された。

＜報告事項＞

1. 会計より総会資料4-1、4-2に基づき、一般会計・特別会計の決算報告がなされた。
2. 監事より会計監査が未終了であり、報告できない旨の報告がなされた。
3. 学会誌編集委員会の太田理事の代理として井部理事より、総会資料3-1-1、3-1-2に基づき、報告がなされた。
4. ニュースレター委員会の高木理事の代理として佐居理事より総会資料3-2に基づき、報告がなされた。第24号の発行、および、今年度よりホームページ更新作業を担うようになったことを追加して総会資料とすることとなった。
5. 学術交流委員会の鶴田理事より資料3-3に基づき、報告がなされた。
6. 庶務の佐居理事より資料2に基づき、報告がなされた。
7. 第14回学術大会企画委員会より大会の準備状況についての説明があった。

以上